

今後の予定

1 行政検討会（遺伝毒性評価ワーキンググループ）

●第4回（平成26年秋頃）

○既存情報による遺伝毒性の評価について（つづき）

※25年度文献調査ではエームス試験データがなかったが、その後の調査で評価可能なエームス試験データ（「既存化学物質毒性データベース」のデータ）が見つかった物質

2 委託事業

（1）遺伝毒性情報等の収集・整理（～平成26年度末）

- ・約4,000物質について、発がん性情報及び遺伝毒性情報を収集・整理する。
このうち遺伝毒性情報については、比活性値やD20値の確認・計算を含む。

（2）遺伝毒性試験（エームス試験試験）の実施（～平成26年度末）

- ・約50物質について試験を実施予定。
- ・ガス状物質や揮発性液体については、ガスばく露法による試験を実施。

（3）遺伝毒性に関する構造活性相関の計算（～平成26年度末）

- ・遺伝毒性情報がない約1,000物質について計算予定。

（4）非遺伝毒性発がんスクリーニング試験（Bhas42細胞形質転換試験）の実施（～平成26年度末）

- ・16物質について試験を実施予定。